

教科	数学	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1章 文字式を使って説明しよう[式の計算]	15	・身のまわりの問題を、具体的な数の計算をもとに考え、文字を用いて一般的に表す必要性を理解する。 ・単項式と多項式、次数の意味を理解する。また、四則計算もできるようにする。 ・具体的な数の性質をもとに数の性質を見いだし、その性質が成り立つことを、文字を使って一般的に説明できることを理解する。 ・目的に応じて等式を変形することの必要性を理解し、等式を変形して、ある文字について解くことができる。	○文字を使うと、数量を一般的に表すことができることを理解している。 ○簡単な整式の四則計算をすることができる。 ○文字を使って数量を表したり、説明することがらに合わせて文字式を変形したりすることができる。 ○目的に応じて等式を変形することの必要性を理解している。	○既習の計算方法と関連付けて、2つの文字をふくむ多項式と数の乗法や除法の計算を考え、説明することができる。 ○文字を使った説明を読んで新たな性質を見いだしたり、問題の条件を変えて統合的・発展的に考え説明したりすることができる。	○文字を使った式の必要性和意味を考えようとしている。 ○文字式にいて学んだことを、生活や学習に生かそうとしている。 ○文字式を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。
2章 方程式を利用して問題を解決しよう[連立方程式]	12	・求めたい数量が2つある問題を、既習の1元1次方程式などを活用して解決することができる。 ・2元1次方程式とその解の意味、連立方程式とその解の意味を理解し、様々な方法で解けるようにする。 ・具体的な問題を、連立方程式を利用して解決するときの考え方や手順を理解する。	○2元1次方程式とその解の意味を理解している。 ○連立方程式とその解の意味を理解している。 ○簡単な2元1次方程式を解くことができる。	○1元1次方程式などを活用して、2元1次方程式を解く方法を考察し表現できる。 ○連立2元1次方程式を具体的な場面で活用することができる。	○連立2元1次方程式のよさを実感し、粘り強く考えようとしている。 ○学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○連立2元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。
3章 関数を利用して問題を解決しよう[1次関数]	19	・具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を調べ、一定の割合で変化していることを見いだす。 ・1次関数の意味を理解し、$y=ax+b$の式に表すことができる。 ・連立方程式の解が、2つの2元1次方程式のグラフの交点の座標であることを理解し、連立方程式の解をグラフをかくて求めたり、2直線の交点の座標を連立方程式を解いて求めたりすることができる。	○1次関数の意味を理解し、$y=ax+b$の式に表すことができる。 ○事象の中には1次関数として捉えられるものがあることを知っている。 ○2元1次方程式を関数を表す式とみることができる。	○1次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ○1次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	○1次関数のよさを実感し、粘り強く考えようとしている。 ○1次関数で、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○1次関数を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。
4章 図形の性質の調べ方を考えよう[平行と合同]	15	・多角形の内角の和の求め方を説明することができる。 ・角の大きさの求め方を、補助線や根拠となる図形の性質を明らかにして説明することができる。 ・平面図形の合同の意味と合同な図形の性質を理解する。 ・根拠となることがらを明らかにして、簡単な図形の性質を証明することができる。	○平行線や角の性質を理解している。 ○多角形の角についての見いだせることを知っている。 ○多角形の外角の和の性質は、多角形の内角の和をもとに見いだせることを理解している。 ○平面図形の合同の意味と表し方を理解している。 ○証明の必要性和意味を理解している。	○基本的な平面図形の性質を見いだし、平行線や角の性質を基にしてそれらを確かめ説明することができる。	○平面図形や証明のよさを実感し、粘り強く考えようとしている。 ○平面図形や証明で、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○平面図形や証明を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。
5章 図形の性質を見つけよう[三角形と四角形]	21	・演繹的な推論の意味や方法を理解し、三角形や四角形の性質を調べる。 ・定義や定理、および定理の逆の意味や、仮定、結論を明らかにして証明することの意味を理解する。	○二等辺三角形や直角三角形、平行四辺形の定義や性質を理解している。 ○三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用することができる。	○三角形の合同条件や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりすることができる。	○三角形や四角形のよさを実感し、粘り強く考えようとしている。 ○三角形や四角形で、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○三角形や四角形を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。
6章 起こりやすさをとらえて説明しよう[確率]	9	・多数回の実験の結果をもとにして、あたりやすさの傾向を読み取り、説明することができる。 ・多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味及び確率の求め方を理解する。 ・身のまわりの事象の起こりやすさを、確率をもとにして考え、説明することができる。	○多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味及び確率の求め方を理解している。 ○簡単な場合について確率を求めることができる。	○同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考え、説明することができる。 ○確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現することができる。	○確率のよさを実感し、粘り強く考えようとしている。 ○確率で、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○確率を活用した問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとしている。

7章 データを比較しよう [データの比較]	5	・複数のデータの分布の傾向を比較するとき、ヒストグラムでは比較しにくいことを知る。 ・箱ひげ図と四分位範囲の意味を理解し、データを整理して箱ひげ図に表すことができる。また、箱ひげ図と四分位範囲の特徴を理解する。 ・四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。	○箱ひげ図と四分位範囲の意味を理解し、データを整理して箱ひげ図に表すことができる。 ○パソコンなどの手段を用いて、データを整理し、箱ひげ図に表すことができる。	○四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。	○既習のデータの整理や分析の方法を、問題解決に生かそうとしている。 ○四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を考えようとしている。 ○データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
--------------------------	---	--	---	---	--